

令和 7 年度 新潟青陵大学免許法認定講習（認定申請中） 科目概要

※開講科目は予定であり、変更となる場合がございます。

NO	科目名	科目の概要
1	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	保育者の社会的意義、役割と倫理、保育者の制度的位置づけ(資格、要件、責務等)、保育者の職務内容(養護と教育、保育者の資質・能力、知識・技術及び判断、保育の省察、教育課程による保育の展開と自己評価、身分上の義務等)、保育者の連携・協働(保育と保護者支援にかかわる協働、専門職間及び専門機関との連携、保護者及び地域社会との協働等)について、文献、法令・法規、答申等の資料に基づいて概説する。
2	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	現在の学校教育に関する制度的事項や経営的事項について基礎的な知識を身に付けさせるとともに、学校教育の課題である学校・保護者・地域が連携・協働した取り組みや、学校安全の取り組みに関して実践例に即して学ぶ。
3	幼児理解の理論及び方法	保育実践においては、子ども一人一人の心身の発達や特性、体験によって得られる学びの課程を理解することが重要である。本講義では、子どもを理解するための具体的な方法を理解し、実態に応じた保育者の援助方法、基本的な態度を身につける。
4	保育内容の指導法Ⅰ（情報機器及び教材の活用を含む。）	幼児の発達特性を踏まえ、遊びや生活を通じた「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」各領域の指導法を学び、実践力の基礎を養う。あわせて、教育・保育活動における情報機器や教材の活用法を習得し、幼児の主体的な活動を支える ICT 活用のあり方を考察する。
5	保育内容の指導法Ⅱ（情報機器及び教材の活用を含む。）	幼児の発達過程や個別性を踏まえた柔軟な指導計画の立案・実施・評価力を養う。領域横断的な活動や子ども同士の相互作用を支える支援法を学び、情報機器や教材を活用した創造的な保育実践の展開力を育成する。あわせて、実践事例を通じて、ICT 活用の可能性と留意点を具体的に理解する。
6	子どもと環境	領域「環境」の指導の基盤となる、幼児を取り巻く環境や、幼児と環境との関わりについての専門的な事項について概説する。
7	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	これからの社会を担う子どもたちに必要な資質・能力を育成するため、教育の方法や技術、情報機器および教材活用に関する基礎的な知識・技能を身に付ける。幼児の興味・関心を高め、体験と関連付けながら効果的に教材を作成・提示できる指導力を養う。